

別 冊 （2）

障壁画部会

第3次障壁画保存修理事業について

第3次保存修理事業では、2年度目である平成29年度は、本格修理24面、応急修理12面を実施している。
来年度以降の計画は、当初計画のとおりとする。（図1-1～図1-9）

は御殿内所在障壁画

年	年度	本 格 修 理						応 急 修 理					
		棟	部 屋	形状	面数	小計	計	棟	部 屋	形状	面数	小計	計
1 年 目	H28	黒 書 院	牡丹之間	戸襖	8	8	25	遠 侍	四之間	長押上貼付	7	18	19
		大 広 間	三之間	襖	4	9			五之間	長押上貼付	4		
			四之間	襖	4					天井画	5		
				長押上貼付	1					勅使之間(上段)	貼付		
		遠 侍	四之間	襖	4	8			勅使之間(下段)	貼付	1		
			五之間	襖	4				大 広 間	一之間	帳台構下蹴込	1	1
2 年 目	H29	黒 書 院	牡丹之間	戸襖	6	6	24	遠 侍	五之間	天井画	12	12	12
		遠 侍	帳台之間	帳台構襖	4	18							
			勅使之間(上段)	帳台構襖	4								
				長押上貼付	2								
				貼付	4								
			勅使之間(下段)	長押上貼付	4								
3 年 目	H30	遠 侍	一之間	襖	4	21	21	遠 侍	一之間	障子腰貼付	15	34	41
			勅使之間(下段)	襖	4				二之間	障子腰貼付	9		
			帳台之間	貼付	4				四之間	障子腰貼付	10		
			勅使之間(上段)	大床貼付	1				五之間	天井画	7	7	
				大床袖壁貼付	2								
				違棚貼付	1								
				違棚袖壁貼付	4								
			長押上貼付	1									
			4 年 目	H31	大 広 間			二之間	襖	4	8	23	
三之間	襖	4											
遠 侍	五之間	貼付			3	15							
	芙蓉之間	貼付			4								
	勅使之間(上段)	違棚上天袋小襖			8								
5 年 目	H32	大広間	三之間	貼付	2	13	21						
				長押上貼付	2								
			四之間	戸襖	6								
				長押上貼付	3								
		遠侍	一之間	襖	4	8							
			二之間	襖	4								
合 計							114	72					

[illegible]

障壁画模写事業について

1 障壁画模写制作（図 2-1～図 2-3）

（平成 29 年度）

棟	部屋	形状	面	位置	面数
遠侍	四之間	長押上貼付	北面	東より 1～2	2
			東面	北より 1～3	3
		襖	北面	東より 1～4	4
	五之間	襖	南面	東より 1～4	4
白書院	南廊下	杉板壁*	西面	—	1
計					14

*下地の作成まで

（平成 30 年度）

棟	部屋	形状	面	位置	面数
遠侍	勅使の間(下段)	壁貼付	南面	東より 1～4	4
		長押上貼付	南面	東より 1～4	4
白書院	南廊下	杉板壁	西面	—	1
白書院	南廊下	杉板壁*	東面	—	1
計					10

*下地の作成まで

2 模写障壁画のはめ替え（図 3-1～図 3-3）

（平成 29 年度）

棟	部屋	形状	面	位置	面数
遠侍	三之間	襖	北面	東より 1～4	4
			東面	北より 1～4	4
		長押上貼付	北面	東より 1～4	4
	四之間	襖	西面	北より 1～4	4
	芙蓉之間	襖	南面	東より 1～4	4
計					20

（平成 30 年度）

棟	部屋	形状	面	位置	面数
遠侍	四之間	長押上貼付	北面	東より 1～2	2
			東面	北より 1～3	3
		襖	北面	東より 1～4	4
	五之間	襖	南面	東より 1～4	4
白書院	南廊下	杉板壁	西面	－	1
計					14

「築城 400 年記念 展示・収蔵館」平成 29 年度展示事業について

「築城 400 年記念 展示・収蔵館」（以下、「展示・収蔵館」）は、昭和 57 年に美術工芸品として重要文化財指定を受けた二之丸御殿障壁画を恒久的に保存するため、二条城築城 400 年を記念して、平成 16 年 3 月に竣工し、平成 17 年 10 月 10 日に開館した。

現在、「展示・収蔵館」では年間 4 期にわたり展示事業を行っており、今年度の内容は以下の通りである。

第 1 期展示事業「戯れる虎たち ～〈遠侍〉一の間《竹林群虎図》～」

- a 会期 平成 29 年 4 月 20 日（木）～6 月 18 日（日）（60 日間） 総入館者数 17,287 人
- b 内容 寄り添ってくつろいだり、楽し気に駆け回ったりする虎の姿が描かれた、〈遠侍〉一の間
の障壁画を展示した。
- c 出品障壁画 二条城二の丸御殿遠侍一の間障壁画《竹林群虎図》
二条城二の丸御殿遠侍杉戸絵《竹虎図》

第 2 期展示事業「大政奉還 150 周年記念展示第 1 弾 絵画の舞台 ～〈黒書院〉一の間・二の間の障壁画～」

- a 会期 平成 29 年 6 月 27 日（火）～9 月 3 日（日）（60 日間） 総入館者数 22,386 人
- b 内容 教科書の挿図を通じて広く知られている、《大政奉還之図》に室内の様子が詳しく描かれた、〈黒書院〉一の間・二の間の障壁画を展示した。
- c 出品障壁画 二条城二の丸御殿黒書院一の間障壁画《松柴垣禽鳥図》
二条城二の丸御殿黒書院一の間・二の間障壁画《桜花雉子図》
二条城二の丸御殿黒書院一の間・二の間障壁画《楼閣山水図》

第 3 期展示事業「大政奉還 150 周年記念展示第 2 弾 歴史の舞台 ～〈大広間〉一の間・二の間の障壁画～」

- a 会期 平成 29 年 9 月 14 日（木）～11 月 12 日（日）（60 日間） 総入館者数 21,588 人
- b 内容 慶応 3 年（1867）10 月 13 日、徳川慶喜が大政奉還の決意を諸藩の重臣に伝えた場所として有名な、〈大広間〉一の間・二の間の障壁画を展示した。
- c 出品障壁画 二条城二の丸御殿大広間一の間障壁画《松図》
二条城二の丸御殿大広間一の間障壁画《松錦鶏図》
二条城二の丸御殿大広間二の間障壁画《松孔雀図》

第 4 期展示事業「湖畔の眺望（ながめ） ～〈白書院〉の水墨山水図～」

- a 会期 平成 29 年 11 月 21 日（火）～平成 30 年 1 月 28 日（日）（60 日間） 総入館者数 18,012 人
- b 内容 将軍の居室であり、ごく内輪の対面も行われた〈白書院〉の一の間・二の間に描かれた《西湖図》を展示した。
- c 出品障壁画 二条城二の丸御殿白書院一の間障壁画《西湖図》

障壁画の貸出について

平成 29 年度の実績

(1) 福井市立郷土歴史博物館

平成 29 年秋季特別展「さよなら、江戸幕府 ―大政奉還と幕末の二条城―」

(主催：福井市立郷土歴史博物館)

a 貸出・展示期間

貸出期間 平成 29 年 10 月 4 日 (水) ～11 月 28 日 (火)

展示期間 平成 29 年 10 月 13 日 (金) ～11 月 26 日 (日)

b 会場 福井市立郷土歴史博物館 企画展示室

c 出品障壁画 大広間四之間西面襖 6 面《松鷹図》(北より 4～9)

【OH-D-37, 38, 39, 40, 41, 42】

黒書院二之間南面戸襖 6 面《桜花雉子図》(東より 1～6)

【KS-B-15, 16, 17, 18, 19, 20】

(2) 高知県立高知城歴史博物館

特別展「明治元年の日本と土佐 ～戊辰戦争 それぞれの信義～」

(主催：高知県立高知城歴史博物館)

a 貸出・展示期間

貸出期間 平成 30 年 1 月 25 日 (木) ～6 月 4 日 (月) (予定)

展示期間 平成 30 年 3 月 21 日 (水・祝) ～4 月 20 日 (金) (31 日間)

【2-KS-D-17】

平成 30 年 4 月 21 日 (土) ～5 月 28 日 (月) (38 日間)【2-KS-D-19】

b 会場 高知県立高知城歴史博物館 3 階 特別展示室・総合展示室 2

c 出品障壁画 黒書院四之間《秋草扇面散図》長押上貼付, 東面, 北より 1

【2-KS-D-17】, 及び北より 3 【2-KS-D-19】

平成 30 年度の予定

(1) 東京藝術大学大学美術館

NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」

(主催：東京藝術大学, NHK, NHKプロモーション)

a 貸出・展示期間

貸出期間 平成 30 年 5 月 16 日（水）～7 月 26 日（木）（予定）

展示期間 平成 30 年 5 月 26 日（土）～7 月 16 日（月・祝）[45 日間]

b 会場 東京藝術大学大学美術館

c 出品障壁画 黒書院二之間《桜花雉子図》壁貼付，北面【2-KS-B-01】

（2）大阪歴史博物館

NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」

（主催：大阪歴史博物館，NHK大阪放送局，NHKプラネット近畿，
読売新聞社）

a 貸出・展示期間

貸出期間 平成 30 年 7 月 18 日（水）～9 月 27 日（木）（予定）

展示期間 平成 30 年 7 月 28 日（土）～9 月 17 日（月・祝）[46 日間]

b 会場 大阪歴史博物館

c 出品障壁画 黒書院一之間《桜花雉子図》戸襖貼付，西面，北より 2
【2-KS-A-40】

（3）鹿児島県歴史資料センター黎明館

NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」

（主催：西郷どん実行委員会（仮），NHK鹿児島放送局，NHKプラネット
九州）

a 貸出・展示期間

貸出期間 平成 30 年 9 月 17 日（月）～11 月 28 日（水）（予定）

展示期間 平成 30 年 9 月 27 日（木）～11 月 18 日（月・祝）[46 日間]

b 会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館

c 出品障壁画 黒書院二之間天井画（模写障壁画）

杉戸の修理計画について

1 杉戸の所在

平成 25 年度内に、杉戸絵 80 枚（156 面）の全数を旧収蔵庫内に収蔵し、平成 26 年度に、全数の簡易な撮影を行うとともに、画題の再確認と、本来の設置場所の推定及びその後の移動について調査を開始した。現段階で、現状（収蔵庫への移動時）では別の棟に 2 面ずつ設置されていた杉戸が 4 面連続する画面であるものなどが確認された。

障壁画面数一覧(杉戸) H26.1

元の所在	遠侍	式台	大広間	黒書院	白書院	合計(面)
面数	20	14	38	28	56	156

2 杉戸の現状

概ね全面とも剥落止め樹脂の噴霧工事を経ており、黒変・埃の付着・白濁等が起こっている。御殿内廊下に展示していた 2 枚（4 面）《唐獅子図／虎図》については、漆縁の剥離が起こっている。多くの漆縁に細かく欠損が起こっている。また、仕口等がゆるんで外れやすくなっているものが複数ある。

3 修理方法の検討（現時点までの報告）

（1）画面

ア ドライクリーニング

イ 水によるクリーニング

※ ただし、PVA の状態によっては化学変化を起こして悪影響を及ぼす場合があるので、試験的に実施する等、慎重に進める必要がある。

ウ 剥落止め

※ 膠・エマルジョン状のアクリル樹脂。

エ 顔料剥離を起こしている剥落止め樹脂については、ポパールの除去酵素の使用が可能かどうか検討を要する。東京文化財研究所等と協議を行うことも視野に入れる。

（2）漆縁

漆欠損部の小口は進行しないようにアクリル樹脂等で押さえる。

漆表面の剥離及び仕口等のゆるみについては、建造物担当者を含めて個別に相談する必要がある。

4 今後の予定と課題

3 の（2）で述べたように、修理方法自体が建造物課との協議を要する案件であるため、建造物の修理計画も踏まえた上で、具体的な見積作業に取り掛かりたい。

修理対象障壁画からの発見について

- 対 象：遠侍勅使之間（上段）南面帳台襖貼付（東より 1～4）「楓檜桃小禽図」，
遠侍帳台之間北面帳台襖貼付（東より 1～4）「芦雁図」
（本年度本格修理対象）

概 要

1 墨書の発見について

帳台襖を解体したところ、勅使之間側の 4 枚のうち 3 枚の杉板面に「中坊左近」「二ノ丸」「とうさふらい」の墨書が確認できた（図 1）（図 2）。残りの 1 面については、引手板に同じ文言が確認できた。

なお、中坊左近は、中井家文書に作事奉行の一人として名前が記載されている奈良奉行の中坊左近秀政（天正 3・1575～寛永 15・1638）のことと思われる。先行研究では、具体的に何を担当したのかは明らかでないと指摘されていたが、今回の発見により、少なくとも遠侍の材料調達に関わっていたことが明らかになった。

2 帳台襖の建具仕様について

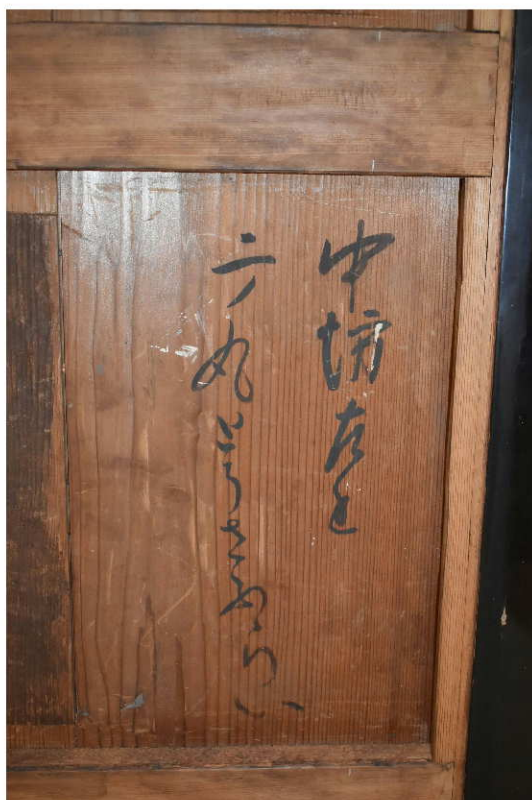
帳台襖を解体したところ、帳台之間側は、框の漆が塗られておらず、各襖ともに、3 枚の板が縦に並べて継がれていた。4 枚のうち両端にあたる嵌め殺しの襖には、板に手がかりがついていたこと、框と板に段差がないことから、帳台之間側は元来、板戸として作製されたと考えられる。

現在の帳台之間側の障壁画は「芦雁図」であるが、引き手跡などから、転用障壁画であることが明らかである。

なお、明暦（1655～58）以前の二之丸御殿の様子を写したものと考えられている中井家文書「二條御二之丸」には、帳台之間に「御絵萩雁霞金」と記されており、現在の障壁画の画題と矛盾しないが、様式的に見て、現在の「芦雁図」そのものであるという確証は得られない。ただし、文書年代が正しいとするならば、比較的早い時期に、板戸に何らかの「雁図」が貼り付けられていた可能性がある。



(図1) 勅使之間側 (東より1)



(図2) 勅使之間側 (東より1) 拡大



(図3) 帳台之間側 (東より1)
手がかりがついている。



(図4) 帳台之間側 (東より1) 拡大
赤丸部分が手がかり。

本丸御殿障壁画修理について

1 概 要

二条城本丸御殿障壁画の237面の修理を、国指定重要文化財(建造物)本丸御殿保存修理工事の一環として、平成29年度から33年度の5箇年計画で実施する。

2 障壁画の内訳

棟／形状	襖貼付	壁貼付	腰障子 貼付	戸襖貼付	杉戸絵	計
台所・雁の間	10	9	0	8	0	27
御書院	58	10	12	0	16	96
御常御殿	58	18	26	0	6	108
玄関	0	0	0	0	6	6
合計	126	37	38	8	28	237

3 修理年次計画

年度	内訳	計
29	雁之間27面／御書院4面	31面
30	御書院46面／御常御殿15面	61面
31	御書院10面／御常御殿19面	29面
32	御書院4面／御常御殿40面	44面
33	玄関6面／御書院66面	72面
	合計	237面

4 修理内容

修理内容は、以下の5段階のランク分けを行い、各障壁画の技法・損傷状態等により、そのいずれかを実施する。建具および襖の下地骨は、原則として元のものを使用するが、損傷が激しいものについては、杉材で新調する。

ランク	修理内容	対象面数
A	剥落止め、解体、肌裏まで取替	87
B	解体、肌裏まで取替	37
C	剥落止め、解体、裏打紙まで取替	45
D	解体、裏打紙まで取替	32
E	剥落止め	36
	合計	237

二条城の活用について

平成 29 年 10 月 13 日から 22 日まで、大政奉還 150 周年を記念して開催された、京都市主催「二条城ライトアップ」の一環として、一般公開としては初となる、二之丸御殿内のライトアップを行った（合計入場者数 16,385 人）。

ライトアップ期間中は、昼間の通常観覧時間（8:45-17:00）も含め、大広間西廊下・南廊下の障子を開放し、御殿から二之丸庭園を鑑賞できるようにするとともに、夜間のライトアップ観覧時間（18:00-21:00）には、併せて西廊下の透明雨戸も開放した。ただし、天候不良時には透明雨戸の開放を中止することとしていたことから、最終的に透明雨戸の開放を行ったのは 14 日と 17 日の二日間だけであった。

また、平成 30 年 2 月 1 日から 3 月 2 日まで、「世界遺産 二条城 冬の特別公開」の一環として、二之丸御殿大広間西廊下・南廊下の障子を開放した（この期間中は、透明雨戸の開放は行っていない。）。

なお、昨年度の障子開放時（平成 29 年 1 月 7 日～30 日）には、温湿度・照度・紫外線量を計測できる機器を設置し、環境調査を実施したが、今年度も同様に調査を行った。

（参考資料）

- ・別紙 1 二之丸御殿大広間 障子・透明雨戸開放箇所（「冬の特別公開」障子開放を含む）
- ・別紙 2 二之丸御殿大広間 透明雨戸開閉について（中止基準）
- ・別紙 3 平成 29 年度 透明雨戸開放時の環境調査結果（抄）
- ・別紙 4 （参考）平成 28 年度 障子開放時の環境調査結果（抄）

二之丸御殿大広間 障子・透明雨戸開放箇所

— 障子開放箇所

二条城ライトアップ: 10月13日～22日 (昼間・夜間とも)

冬の特別公開: 2月1日～3月2日 (昼間のみ)

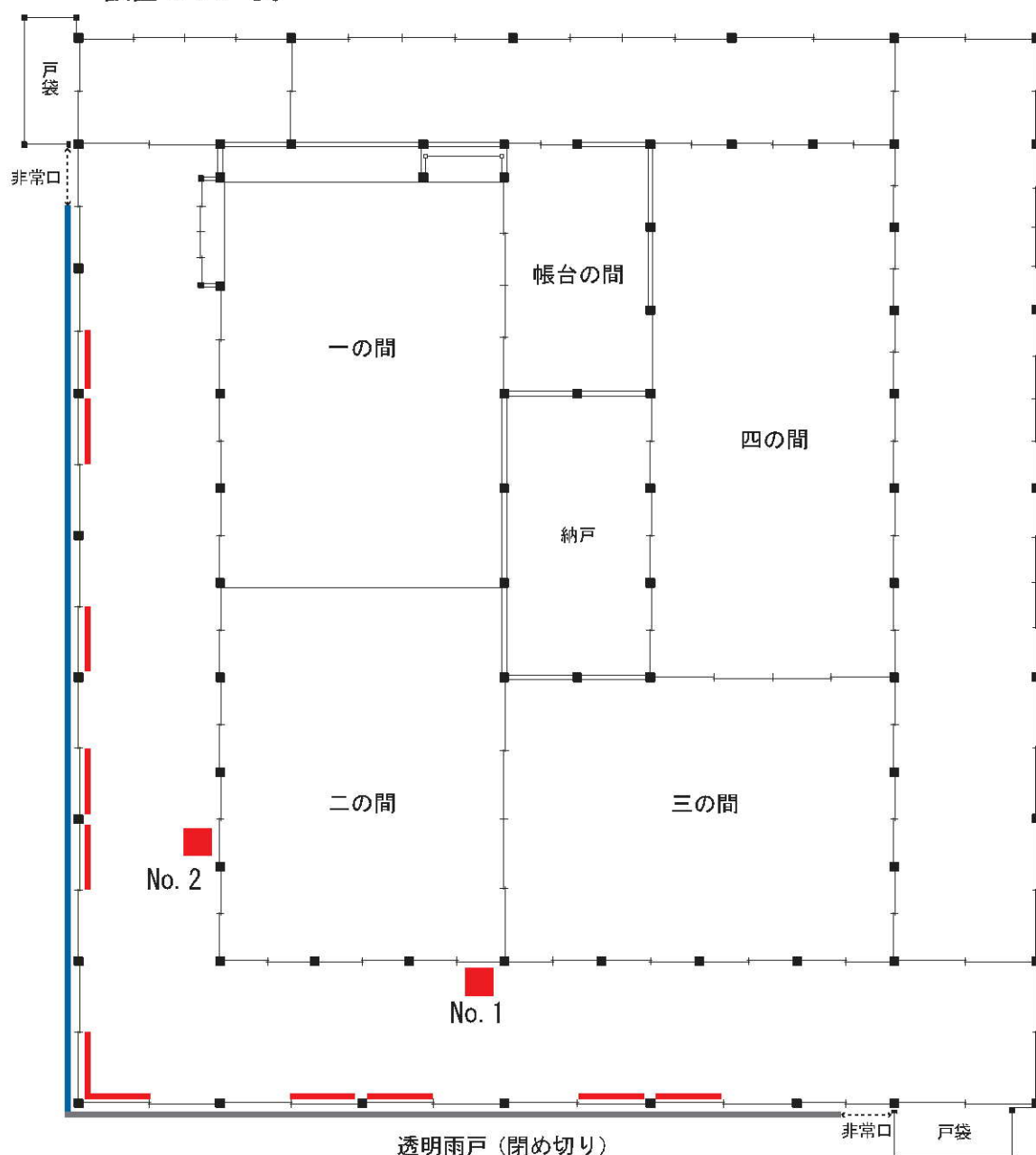
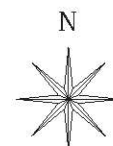
— 透明雨戸開放箇所

二条城ライトアップ期間の夜間のみ開放 (南廊下側は開放せず)



機器設置位置 (通年, 既存解説パネルに取付け)

※比較のため, 黒書院西廊下 (No. 3) ・南廊下 (No. 5) にも機器を設置している。



- 二の丸御殿大広間の透明雨戸の開放(責任者, ディレクター1, 遊撃スタッフの3名)
二の丸御殿大広間西側の7箇所の透明雨戸を開放し, 御殿内から二の丸庭園を
ご覧いただく。

※ 雨天時は透明雨戸を閉めたまま対応

※ 障子は昼間から開放済み



※大広間西側の7箇所を開放

雨天時以外の実施にあたっては, 以下の2点に留意する
とともに, 以下のケースの場合は, 透明雨戸を閉める。

(ア)開催直前及び開催中の風対応

御殿と庭園の境※にて, ディレクター1が風速計で, 定期的に
風速を計測

※具体的には廊下から外へ手を出して計測

風速4m/sが一定期間(60秒)継続する場合は, 透明雨戸を閉めたままにする。

※計測時間 17時・18時・19時・20時・21時

※計測時間外でも, 風が強くなってきた場合は, 随時透明雨戸を閉めたままにする。

(イ)開催直前及び開催中の雨対応

▶ 事前判断

17時の段階で, 京都市中京区の降水確率が40%以上の場合は, 透明雨戸は
閉めたままにする。

※40%以下でも既に降雨の場合は閉める。

▶ ライトアップ開催中判断

ライトアップの開催中に, 雨が降り出した場合は, 即座に透明雨戸を閉める。

※日商社責任者, ディレクター1, スタッフ8, 遊撃スタッフで対応

名称	風力	秒速 (m/s)	状 態
無風	0	0.0-1.4	煙が真直に上る
軟風	1	1.5-3.4	風のあることを感じる
和風	2	3.5-5.9	樹木の葉を動かす
疾風	3	6.0-9.9	樹木の小枝を動かす
強風	4	10.0-14.9	樹木の大枝を動かす
烈風	5	15.0-28.9	樹木の幹を動かす
颶風	6	29.0以上	樹木や家を倒す

平成 29 年度 透明雨戸開放時の環境調査結果（抄）

1 調査地点について

透明雨戸開放による環境の変化を比較するため、大広間西入側二の間西（以下「大広間西」とする。別紙 1 の No. 2）と黒書院西入側一の間西（以下「黒書院西」とする。別紙 1 の No. 3）を選んだ。どちらも御殿の西側であり、外側に透明雨戸が設置されており、条件が共通するためである。

2 調査期間および内容について

期間：平成 29 年 10 月 14 日～10 月 18 日

内容：照度・紫外線・温度・湿度データロガーを設置（30 分毎に記録）

3 調査結果概要

（1）紫外線

大広間西，黒書院西とも，紫外線は計測されなかった。

（2）照度

照度の高低は，その日の天候に大きく左右される。この期間を通じて天候が悪かったため，日中の照度も低く，一日の最高照度は，最も高い 14 日で 582 ルクス，その他の日は 170 ルクス前後であった（なお，10 月の照度の最高値は 3 日 16 時の 2924 ルクスであった）。夜間ライトアップ時，廊下はワット数の低い LED 足元灯を使用していたため，1 ルクス程度の計測に留まっている。

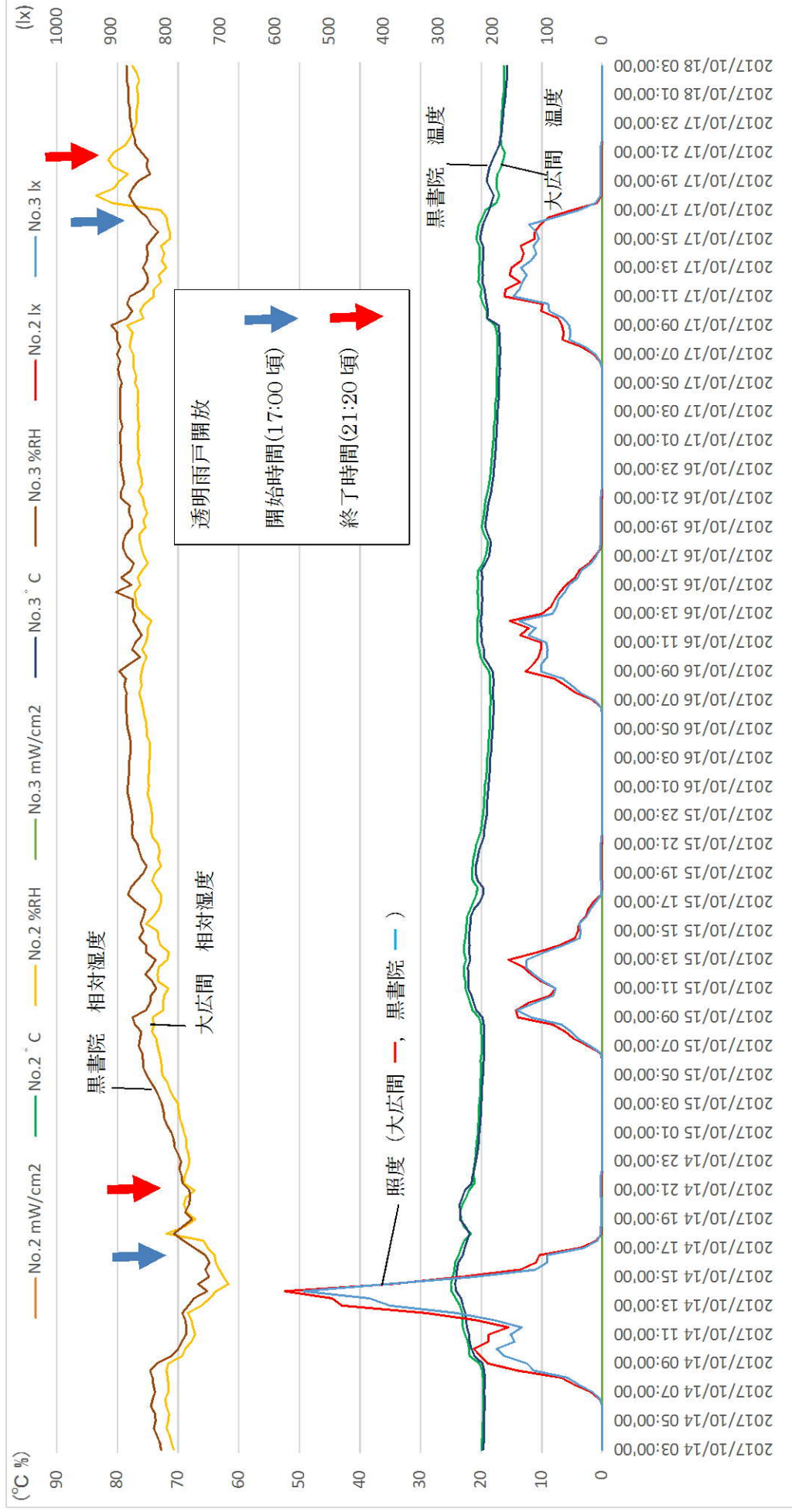
（3）温湿度

この期間を通じて天候が悪かったため，温度は 10℃台後半から 20℃台前半で，急激な温度差のない状態で推移し，湿度はおおよそ 70%台で推移した。この期間中，大広間西が黒書院西に比べて，温度は高め，湿度はやや低めで推移していたが，10 月 14 日の透明雨戸開放時には，大広間西の温湿度は黒書院とほぼ同値になった。10 月 17 日の透明雨戸開放時には，大広間西の温度が黒書院西よりも下がり，湿度が 1 時間で 10 ポイント以上上昇した。

平成 29 年度 透明雨戸開放時の環境調査結果（抄）

別紙 3－2

比較グラフ 1 2017 年 10 月 14 日～10 月 18 日 No.2（大広間西廊下二の間西）と No.3（黒書院西廊下一の間西）の比較



曇

雨

雨

晴

(参考) 平成 28 年度 障子開放時の環境調査結果 (抄)

平成 29 年 1 月 7 日から 30 日まで、本年度で大政奉還から 150 年になるのを記念して、二の丸御殿大広間の西廊下・南廊下の障子を開放し、御殿から二之丸庭園を鑑賞できるようにした。この時期以下の通り二の丸御殿内の環境を測定した。

1 調査地点について

障子開放による環境の変化を比較するため、大広間西廊下二の間西（以下「大広間西」とする。別紙 4-2 図の No. 2）と黒書院西廊下一の間西（以下「黒書院西」とする。別紙 4-2 図の No. 3）を選んだ。どちらも御殿の西側であり、外側に透明雨戸が設置されており、条件が共通するためである。

2 調査期間および内容について

期間：平成 29 年 1 月 7 日～2 月 20 日

内容：照度・紫外線・温度・湿度データロガーを設置（10 分毎に記録）

3 調査結果概要

(1) 紫外線

大広間西、黒書院西とも、紫外線はほぼ計測されなかった。紫外線吸収層をコーティングしたポリカーボネート製の透明雨戸が紫外線の侵入を防いでいると結論付けられる。

＊透明雨戸のない調査地点（黒書院南廊下二の間南。別紙 4-2 図の No. 5）では、最大 0.01mW/cm² が計測されている。

(2) 照度

照度の高低は、その日の天候に大きく左右されるものの、障子開放期間は、総じて大広間の照度が高めに出ており、この期間の照度の平均値を比較すると、大広間西が黒書院西よりも約 39 ポイント高いことが分かった。

また、積雪のあった 1 月 15 日から 17 日にかけては、障子開放箇所にあたる大広間西の照度が高かった。雪による乱反射の影響を受けたものと考えられる。

(3) 温湿度

温度については、通常公開時は、両者はほぼ同じ値で推移しているが、開放時は、大広間西の一日の最高気温が常に黒書院を 1～2℃程度上回った。湿度についても、通常公開時は、両者はほぼ同じ値で推移しているが、開放時は、雨天時以外は、大広間西の一日の最低湿度が黒書院を 5～9 ポイントの範囲で下回った。

また、障子開放により、湿度が短時間で低下した。一日の湿度変化が大きかった 1 月 10 日の湿度の高低差を見ると、大広間西では、40 ポイント近く低下している。このとき、黒書院西は、23 ポイント程度の低下にとどまっていた。

二之丸御殿 平成28年度環境調査 (大広間・黒書院)

— 障子開放箇所 (平成29年1月7日～1月30日)

■ 機器設置位置 (既存解説パネルに取付け)

— 透明雨戸設置箇所 (透明雨戸は閉め切り)

